



## 小俣図書館 図書館行事 ご案内!

### ★赤ちゃんおはなし会

1月12日(木) 午前11時～ <2階・会議室>

(定員) 先着10組

(申込み) 1月6日(金) 午前9時から

直接または電話で小俣図書館へ

※保護者の方のみ、マスクの着用をお願いします。

※当日、発熱や咳などの症状がないか体調をご確認の上、ご参加ください。



### ●たんぽぽおはなし会

1月14日(土) 午後3時～ <2階・会議室>

(定員) 先着20人程度(当日会議室で受け付け)

### ●ピッポの会・紙芝居

1月15日(日) 午前11時～ <2階・会議室>

(定員) 先着20人程度(当日会議室で受け付け)

### ●図書館おはなし会&工作

1月28日(土) 午後3時～ <2階・視聴覚室>

おはなしの後、折り紙で「オニ」を作ります。

(対象) 3歳～小学生(就学前の子どもは保護者同伴)

(定員) 先着20人程度(当日視聴覚室で受け付け)



### ●上映会

1月21日(土) 午後3時～ <2階・視聴覚室>

「忍たま乱太郎の宇宙大冒険 with コズミックフロント☆

NEXT 地球の段◆はやぶさ2の段」《アニメ・50分》

(定員) 先着20人程度(当日視聴覚室で受け付け)



※「★」の行事は、申込みが必要です。

※行事詳細は小俣図書館のポスター・チラシをご覧ください。

※諸般の事情により、行事が延期または中止になる場合がございます。ご了承ください。

開館時間 午前9時～午後7時

休館日 毎週火曜日、第2金曜日

年末年始、特別整理期間

貸出 1人10冊2週間以内(うち雑誌は5冊まで)

1団体50冊1か月以内(うち雑誌は25冊まで)

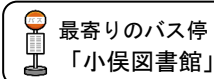
### 小俣図書館カレンダー

1月

2月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				



### ●マナーアップ月間 2023

本はみんなのもの!大切に読もう!!

1月14日(土)～30日(月) <1階・カウンター前>

本の利用マナーに関する掲示と、本の修理の実演を行います。また、オリジナルブックカバーのプレゼントもあります。

※実演は1/21(土)、1/22(日)両日とも

午後2時30分から午後3時30分です。

※ブックカバーは無くなり次第終了します。



### ★せつぶんおはなし会

1月29日(日) 午後3時～ <2階・視聴覚室>

「おには一そと!ふくは一うち!」「せつぶん」に関する絵本や紙芝居を読み聞かせします。

楽しい手遊び歌などもします。

(対象) 小学生以下(就学前の子どもは保護者同伴)

(定員) 先着10組(20人程度)

(申込み) 1月14日(土) 午前9時から

直接または電話で小俣図書館へ



### ★点字ってなあに?おはなし会

2月4日(土) 午後3時～ <1階・児童コーナー>

目の見えない人はどうやって本を読むんだろう?実際に点字の本をさわって体験してみよう!絵本の読み聞かせもします。

参加者には、お名前入りのしおりをプレゼントします。

(対象) 小学生以下(就学前の子どもは保護者同伴)

(定員) 先着10組

(申込み) 1月14日(土) 午前9時から直接または電話で小俣図書館へ

### 小俣図書館館長から新年のあいさつ

新しい年を迎え、小俣図書館はこの春、開館から25年の歳月を数えることとなりました。みなさまに広くご利用をいただき、長くご支援をたまわって、ここまで歩み続けることができました。心より御礼を申し上げます。この度の干支は癸卯(みずのと)。積み重ねてきたものが実を結び、大きな飛躍をとげるとされています。この1年、喜びと楽しさがいっぱい詰まった図書館からの贈り物をご用意して、みなさまの躍進に寄り添いたいと願っています。



### 休館のお知らせ

2022年12月29日(木)～2023年1月4日(水)

は年末年始などのため休館となります。



※ブックポストは通常通りご利用いただけます。



# 伊勢市立伊勢図書館 1月号 図書館だより



No.251

令和5年(2023年)1月1日発行  
 (編集・発行) 伊勢市立伊勢図書館  
 指定管理者/株式会社図書館流通センター  
 (住所) 〒516-0076 伊勢市八日市場町13-35  
 (電話) 0596-21-0077 (FAX) 0596-21-0078  
 (ホームページ) <https://iselib.city.ise.mie.jp/>  
 (一般・twitter) @toshokan\_iselib  
 (子育て・twitter) @isetoshokan  
 (YA・twitter) @IselibYa



## 「おはなし会」



《日時》毎週 土曜日 午後2時30分～  
 《場所》1階・おはなしコーナー

1月7日

／おにいさんおねえさんによるおはなし会  
 14日・21日・28日  
 ／おはなしプーさんによるおはなし会



## 伊勢市立伊勢図書館館長より 新年のご挨拶

あけましておめでとうございます。

旧年中は伊勢市立伊勢図書館をご利用いただきまして、まことにありがとうございます。

2023年もよろしくお祈りいたします。



## 「あかちゃんえほんのじかん」

♪「あかちゃんえほんのじかん」は、毎月第4木曜日です♪

《日時》1月26日(木) 午前11時～

《場所》2階・視聴覚室

《内容》あかちゃんむけの絵本の紹介や、手あそびなどをします♪



## 「上映会」

《日時》1月8日(日) 午後2時～

(開場は午後1時45分)

《場所》2階・視聴覚室

《定員》40人(当日先着順)

「真二つ」  
 六代目 柳家小さん  
 「蜘蛛駕籠」  
 八代目 三升家小勝



究極の真打落語  
2本立て!

〈上映時間81分〉

開館時間 午前9時～午後7時  
 休館日 毎週水曜・第2金曜  
 ・年末年始・特別整理期間  
 貸出 1人10冊 2週間以内(うち雑誌は5冊まで)  
 1団体50冊 1ヶ月以内(うち雑誌は25冊まで)

最寄りのバス停  
「伊勢市立図書館前」

★12月28日(水)～2023年1月4日(水)までは年末年始などのため休館です。

\* 伊勢図書館・休館日カレンダー \*



1月

2月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				



※1月号に掲載されている伊勢図書館の行事は全て申し込み不要です。どうぞお気軽にご参加ください。  
 ※諸般の事情により、行事が延期または中止になる場合があります。ご了承ください。

[一般書]



# 本のごあんない

芥川賞・直木賞

—『文藝春秋』創刊 100 周年—



大正 12 年(1923)、菊池寛は私財を投じて文藝春秋社を創立、『文藝春秋』を創刊しました。この雑誌には菊池の年来の友人であった芥川龍之介をはじめ、横光利一、直木三十二(のちの三十五)、川端康成らが参加し、特に芥川が創刊以来連載を続けた「侏儒の言葉」は人気を博したと言います。

しかし数年後、芥川は自ら死を選びます。次いで直木も病魔に倒れました。菊池が親しくしていた書き手たちが、相次いで亡くなったのです。

「直木を記念するために、社で直木賞金と云ふやうなものを制定し、大衆文芸の新進作家に贈らうかと思つてゐる。それと同時に芥川賞金と云ふものを制定し、純文芸の新進作家に贈らうかと思つてゐる。これは(中略)、亡友を記念すると云ふ意味よりも、芥川直木を失つた本誌の賑やかに亡友の名前を使はうと云ふのである。」

こうして昭和 10 年(1935)、芥川龍之介賞(芥川賞)・直木三十五賞(直木賞)は創設されました。作家や文学の地位向上を目指した菊池寛。彼の遺した両賞は、現在も新しい文学の担い手たちによって受け継がれています。

◎ 芥川賞・直木賞 150 回全記録(文藝春秋)

◎ タイム・スリップ芥川賞

「文学って、なんのため？」と思う人のための日本文学入門(菊池良/著 ダイヤモンド社)

[児童書]

## ちい せかい 小さな世界

もしも体が小さくなったら…今見えてる世界はまるで別世界!?

そんなふうにかんが考えたことはありませんか?

今日は、こびとや小さくなったおばさんが出てくるゆかいで楽しいおはなしや、電子顕微鏡で撮ったあとおどろく小さな世界を探検できる本を集めました。



★スプーンおばさんちいさくなる(アルフ・フリョイセン/さく ビョーン・ベルイ/え おおつかゆうどう/やく 偕成社)

★おたすけこびととおべんとう(なかがわちひろ/文 コヨセジュンジ/絵 徳間書店)

★キャバたまたんてい大ピンチ!ミクロのぼうけん(三田村信行/作 宮本えつよし/絵 金の星社)

★床下の小人たち(メアリー・ノートン/作 林容吉/訳 岩波書店)

★マイクロワールド大図鑑1~4 電子顕微鏡でのぞいてみよう!

(宮澤七郎/監修 医学生物学電子顕微鏡技術学会/編 小峰書店)

☆伊勢・小俣図書館のどちらかに所蔵がある本です。ご利用館にない場合は、予約ができます。

[ヤングアダルト] 「マリー・アントワネット~The Princess~」

「フランス王妃マリー・アントワネット」歴史が嫌いな人でも、なんとなく知っている名前じゃないですか? 大人気漫画やミュージカルの主役にもなり、ますます燦然と輝く彼女……。

人々はなぜこんなにも魅了されてしまうのでしょうか。

「ヴェルサイユのバラ」と称えられる1人の女性。その生涯の一片をのぞかせてもらいましょう……。

(一般書) ●美術品でたどるマリー・アントワネットの生涯(中野京子/著 NHK 出版)

●マリー・アントワネットの宮廷画家 ルイーズ・ヴィジェ・ルブランの生涯

(石井美樹子/著 河出書房新社)

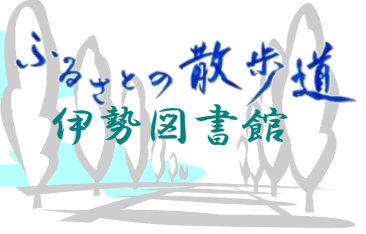
●マリー・アントワネットの嘘(惣領冬実、塚田有那/著 講談社)

●名画で読むハプスブルク家の女たち(宝島社)





おしろい  
「伊勢白粉」



御師の手土産の中に伊勢白粉という化粧品があり、女性にとっても人気がありました。

多気郡丹生村（現：多気郡多気町）で産出された水銀を使用し、飯南郡射和村（現：松阪市射和町）で白粉が生産されていたことから“射和軽粉”と呼ばれていましたが、伊勢の御師が全国の檀家に札配りと一緒に手土産として持って行ったことで“伊勢白粉”という名で有名になりました。

当時は、水銀と赤土を混ぜ合わせ、苦汁<sup>にがり</sup>を練り込め鉄壺中に入れ、炭火で火度 600 度まで強め、約 4 時間熱し続け昇華させて、“ほっつき”という素焼きの蓋に付着した白い結晶を羽の刷毛で払い落す製法で作られていました。

雪のように真っ白な粉で顔に化粧を施し、唇に紅をさせば美しい姿になれると世の女性は憧れていたのかもしれませんが。

しかし、水銀の毒性は少ないといわれていますが量によっては死に至るともいわれています。諸説ありますが“美人薄明”という言葉は、昔は白粉や口紅を付けることにより、知らず知らずの内に水銀が体内に蓄積され、命を落とす。つまり、美しく見せようとお化粧をする回数が多いほど、若いうちに亡くなってしまう…このことからこの言葉が生まれたともいわれています。



【参考資料】

- 松阪開府 400 年史（松阪市秘書対話課／編 松阪市）
- 射和文化史（山崎宇治彦、北野重夫／編纂 射和村教育委員会）
- 化粧（久下司／著 法政大学出版社）
- 新視点三重県の歴史〔正〕

（毎日新聞社津支局／編 三重県史編さんグループ、三重県立博物館学芸員／著 山川出版社）



今月は伊勢図書館のスタッフ 2 人が本を紹介します。



「超訳自省録 よりよく生きる」

（マルクス・アウレリウス／著 佐藤けんいち／編訳  
ディスカヴァー・トゥエンティワン）

今から 1800 年ほど前の、古代ローマ皇帝マルクス・アウレリウスの生き方の哲学。それを厳選して、分かり易い訳で読むことが出来る一冊です。

読んでみて思うことは、大昔の偉人も今を生きる私たちも、同じように悩みモヤモヤしたりするんだな、ということ。

全て読んでとは言いません。でも心が疲れたりした時に、パッと開いてみてください。不思議と腑に落ちる言葉に出会えます。

「つまらない住宅地のすべての家」

（津村記久子／著 双葉社）

ご近所同士というだけでこれまで特に関わることもなかったとある住宅地の人々。

ある日、刑務所から脱走した逃亡犯が近所に近づいているという情報が入り、交替で見張りを行うことに。それぞれの家の事情を知っていくうちに広がるささやかなつながりが、心にあたたかな光を灯してくれます。揚げそばのご用意を忘れずに。